

編集後記

平成25年度のアニュアルレポートが出来ました。この年度内にあった京都医療センターでの一番の出来事は、中庭に第二外来棟を建てる工事が始まったことです。うづら便り2013年9月号で、中庭の風景を惜しんでフォトギャラリーとして紹介しました。第二外来棟は平成26年6月9日に竣工式を終え、現在、その中でPET-CTが順調に稼働しています。また、地域医療連携を強化するために平成25年5月18日に医療連携フォーラムを開催しました。当センターの副院長、塚原徹也が現状をご報告するとともに、京都府立医科大学から吉川敏一学長をお招きして特別講演を賜りました。このフォーラムの内容はうづら便り2013年7月号に載っています。続いて平成26年3月8日には、第二回目のフォーラムを「救急～困った時の医療センター」というテーマで開催しました(うづら便り2014年4月号)。もうひとつの大きなニュースは平成25年7月1日から循環器ホットラインが開設され、循環器内科によるドクターカーの運用が始まったことです(うづら便り2013年7月号)。京都医療センターはどんどんと革新しています!

平成25年度の広報委員会の取り組みでは、広報誌の呼名を2013年7月号から「京都医療センター便り」を改め「うづら便り」に変えました。“うづら”の言われは、うづら便り2013年7月号と京都医療センターのホームページに書かせてもらっています。8月にはサマーコンサートを(うづら便り2013年9月号)、12月にはクリスマスコンサートを(うづら便り2014年2月号)、開催しました。院内のスタッフだけではなく院内保育園児や看護学校の学生さんも参加して盛大に行うことができました。

アニュアルレポートを編集しながら、平成25年度もいろいろなことがあったと改めて感じました。繰り返しになりますが、京都医療センターはよりよい姿を目指して日々努力し、革新しています。平成26年度のアニュアルレポートも胸を張ってお届けできるよう、これからも頑張っていきます。どうかよろしくお願いいたします。

広報委員会
瀬田公一 塚原徹也